

## 取扱説明書

# 出庫警報灯（車両検知センサ付）

製品図番：SRZ1001C-E

- この取扱説明書は、大切に保管してください。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に作業を行ってください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（5頁）を必ずお読みください。

改定履歴

版	年 月 日	区 分	概 要
初版	2024. 1. 30	新規	


本説明書の表記について

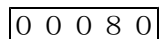
1. 括弧の使い方

本説明書で使用している括弧は、使い分けをしています。

- “ ”：車両検知信号など変化を伴う物。
- [ ]：画面表示・選択項目。
- 【 】：操作スイッチ、操作ボタン。
- 「 」：画面名称。
- 『 』：注意事項、特記事項。

2. その他の表記

 : 交互表示。この場合、“■■■■■”と“00080”の交互表示を表します。

 : 点滅表示。この場合、“00080”の点滅を表します。

1  3 4 B C D E : 反転表示。この場合、“2”が反転表示です。

## 目次

1. 安全上のご注意	5 頁
2. 機能概要	6 頁
3. 設置時のご注意	7 頁
4. 天井蓋・点検蓋の取り外し	8 頁
5. 部品の名称	9 頁
6. 電線の接続について	10 頁
7. 主電源用プロテクタについて	12 頁
7-1. 主電源用プロテクタの確認・操作方法	12 頁
8. 動作について	13 頁
8-1. 出庫警報灯の始動	
8-2. 出庫動作	
8-3. 出庫警報灯の停止	13 頁
8-4. 電子ブザーを停止させるには	14 頁
1. 電子ブザー停止	
2. スイッチ操作での電子ブザー停止	
3. 自動での電子ブザー停止	14 頁
9. ロジックリレーについて	15 頁
9-1. ロジックリレーの操作ボタンについて	16 頁
9-2. ロジックリレーの画面について	17 頁
1. 状態表示画面	17 頁
2. 画面構成	18 頁
9-3. 信号灯タイマーを設定するには	20 頁
1. タイマー設定画面	
2. 設定番号表	20 頁
3. 設定例（信号灯タイマー）	21 頁
9-4. 信号灯ブザー停止時間帯を設定するには	22 頁
1. 信号灯ブザー停止時間帯	
2. 設定表	
3. PARAMETER（信号灯ブザー停止時間帯）画面	22 頁
4. 信号灯ブザー停止時間帯設定画面表示内容	23 頁
5. 設定例（信号灯ブザー停止時間帯）	24 頁
9-5. 年月日、時刻を設定するには	27 頁
1. DATE/HOUR SETUP（年月日・時刻設定）画面の選択	27 頁
2. DATE/HOUR SETUP（年月日・時刻設定）画面	28 頁
3. 日設定	29 頁
4. 月設定	30 頁
5. 年設定	31 頁
6. 時刻（時）設定	32 頁
7. 時刻（分）設定	33 頁
8. 時刻（秒）設定	34 頁
9. 1週間あたりの秒のずれを補正	35 頁
9-6. ロジックリレーの運転、停止を設定するには	36 頁
1. RUN/STOP画面	
2. ロジックリレー停止	36 頁
3. ロジックリレー運転	37 頁

9-7. ロジックリレーの異常を確認するには.....	38頁
1. FAULT (エラー番号確認) 画面	
2. エラー番号の消去 .....	38頁
3. エラー番号一覧表 .....	39頁
10. 電子ブザーの音量調節の方法 .....	40頁
11. レーザーセンサについて .....	40頁
12. 保守点検時のご注意 .....	41頁
13. 故障かな?と思ったら .....	44頁
14. 仕 様 .....	43頁




# 1. 安全上のご注意 必ずお守りください

機器の施工には法令で定められた資格が必要です。



◎人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◎万一、注意事項に従わずに使用された場合の事故や故障などについては、責任を負いかねます。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

	<b>危険</b> 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
	<b>警告</b> 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	<b>注意</b> 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

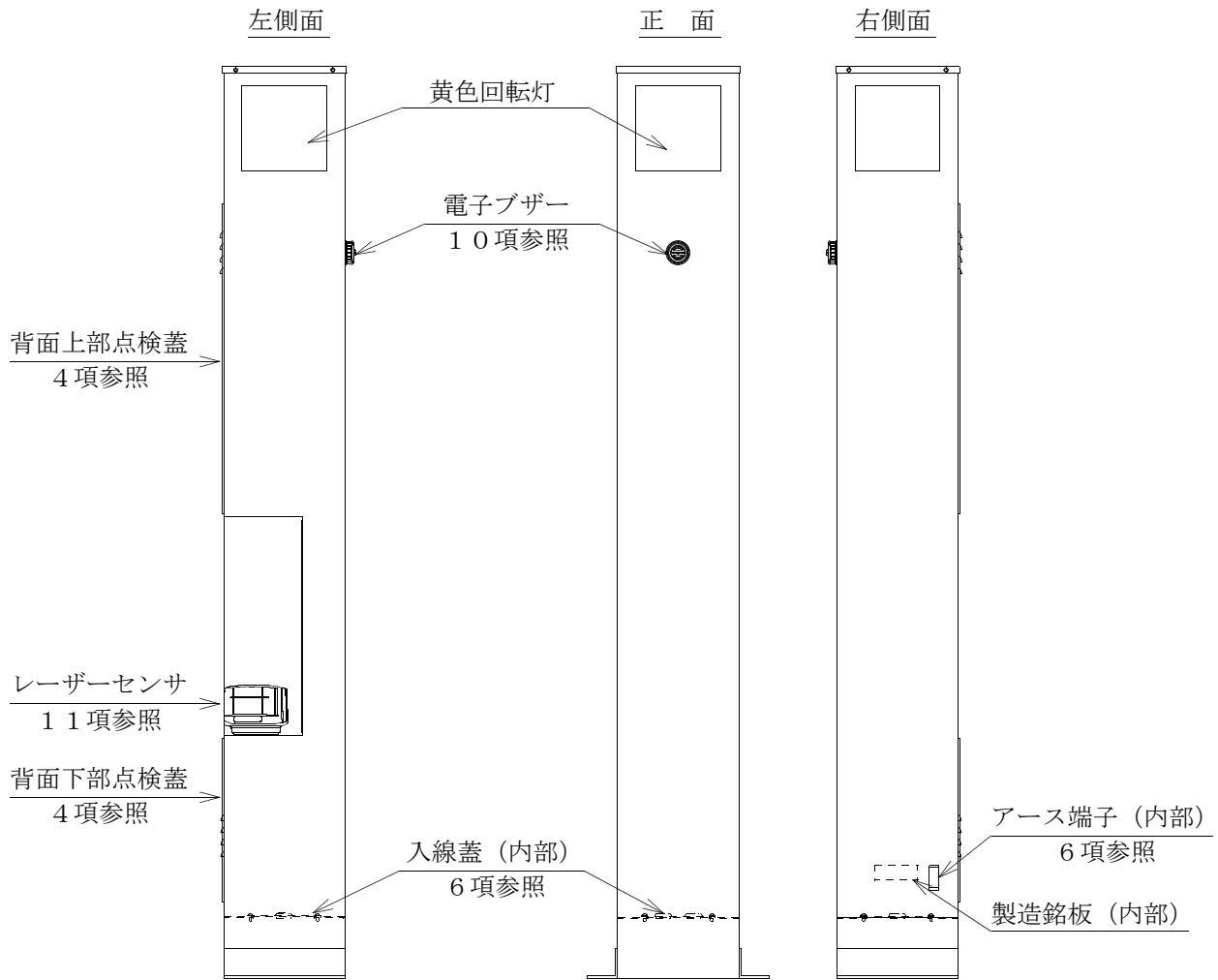
## 2. 機能概要

1. 黄色回転灯制御

歩行者および車両の安全のため、出庫警報灯に取付けているレーザーセンサから“車両検知”信号を受信して、出庫警報灯の黄色回転灯動作および電子ブザーの鳴動制御を行います。

2. 電子ブザー停止制御

出庫警報灯の黄色回転灯が動作したときの電子ブザーの鳴動を、出庫警報灯内部の【信号灯ブザー】スイッチ操作、またはロジックリレー内蔵24時間タイマーで、停止することができます。





製造銘板 (拡大図)

<b>日信防災株式会社</b>	
型名	SRZ1001C-E
製番	B-F×××××
令和	×年 ××月



製造銘板の「×」には数字が入ります。

## 3. 設置時のご注意

### ■ 感電、火災、やけど、けが（死亡）などを防ぐために

 危険	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 濡れた手で、出庫警報灯を取り扱わない。 特に雨天などの悪天候下での設置・調整作業は行わない。 感電によるけが（死亡）の原因となります。</li> <li>● 人が容易に触れる恐れある場合、水気がある場所には設置しない。 感電によるけが（死亡）の原因となります。</li> <li>● 冠水するところには設置しない。 感電・漏電事故の原因となります。</li> <li>● 可燃性ガスや引火物の近くには設置しない。 火災の原因となります。</li> <li>● 活線工事はしない。 感電の原因となります。</li> <li>● 製品の分解・穴をあけるなどの改造はしない。 感電、火災の原因となります。</li> <li>● 出庫警報灯本体内部での分岐配線はしない。 火災の原因となります。</li> <li>● 製品をビニール袋や布、布団、服などで覆わない。 火災や製品が破損する原因となります。</li> </ul>

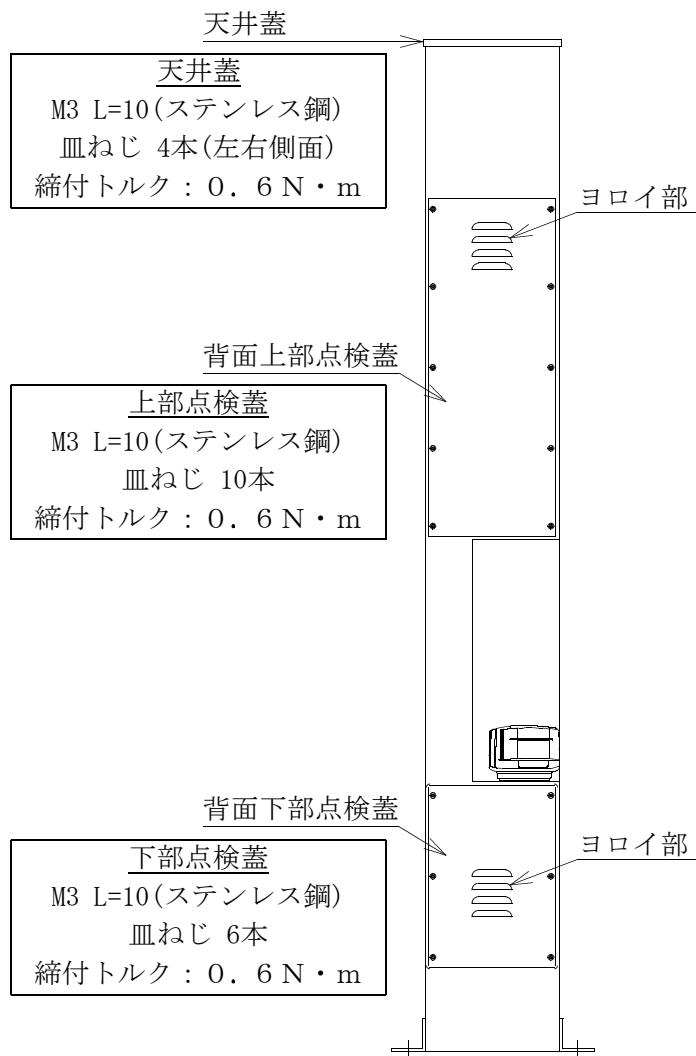
### ■ けがや事故などを防ぐために

 警告	
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出庫警報灯本体には、D種接地(接地抵抗100Ω以下)のアース線を接続する。 その際に強電設備とは独立したD種接地に接続する。 感電の原因となります。</li> <li>● 電源は、仕様に記述された適切な電源を使用する。 故障の故障原因となります。</li> <li>● 強電設備の近くなど、ノイズの多い環境では使用しない。 故障の故障原因となります。</li> <li>● 配線工事は、「電気工事士」の資格がある方が、「電気設備技術基準」「内線規定」に従って施工する。 感電、火災の原因となります。</li> <li>● 端子ねじは推奨締付トルクで確実に締め付ける。 接続不良は、発熱・発火の原因となります。</li> </ul>

## 4. 天井蓋・点検蓋の取り外し

天井蓋または背面点検蓋を取り外す場合は、プラスドライバーを使用して、天井蓋固定ねじ（4本）、背面上部点検蓋固定ねじ（10本）、背面下部点検蓋固定ねじ（6本）を外してください。

天井蓋は、黄色回転灯の点検・交換時に外してください（予備皿ねじ3本添付）。



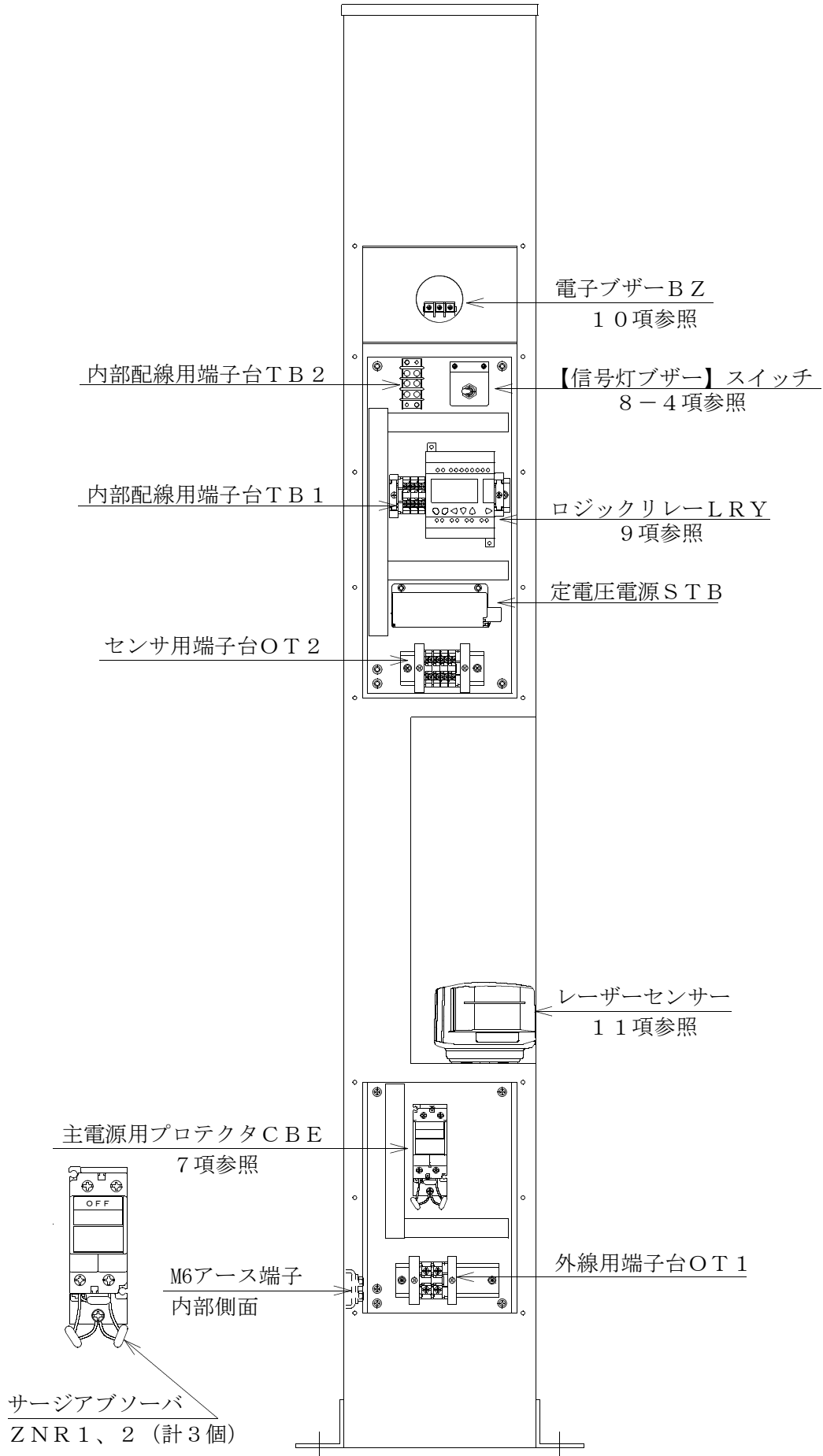
『ご注意』

雨水の浸入を防ぐため、点検蓋の裏面に、スポンジパッキンを貼り付けています。スポンジパッキンが出庫警報灯本体に張り付いて、点検蓋が外れない場合は、ヨロイ部の下側に指を掛けて、上または手前に引っ張るか、プラスチック製の定規などを出庫警報灯本体と背面蓋の隙間に差し込んで、定規をゆっくり捻って点検蓋を剥がしてください。変形または傷が付く恐れがあるので、金属製のマイナスドライバーなどは、使用しないでください。

<b>警告</b>	
<b>必ず守る</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 点検蓋を取り外すときは、必ず手で点検蓋を押さえて、点検蓋を落下させないこと。 けがの原因となります。</li> <li>● 内部の点検を行うときは、必ず主電源用プロテクタを“OFF(オフ)”にする。 感電や、やけどの原因となります。</li> </ul>

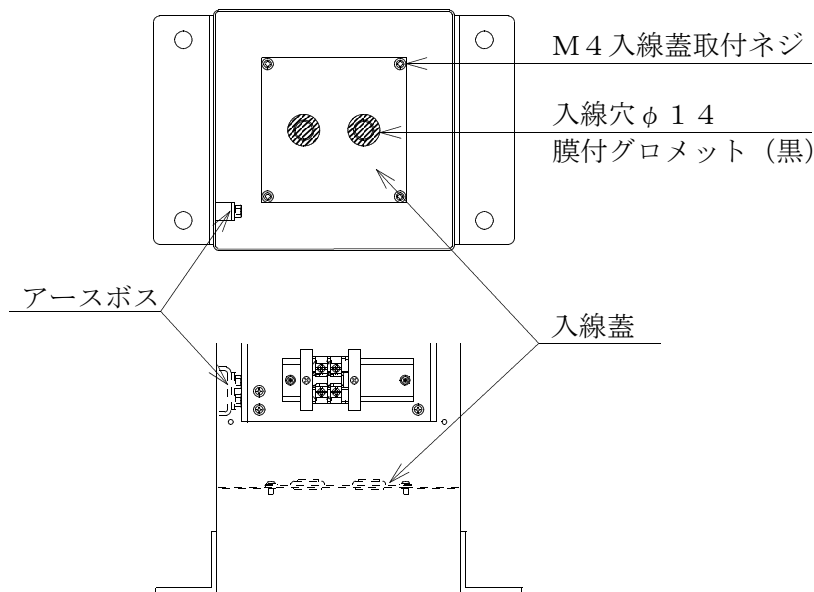


## 5. 部品の名称



## 6. 電線の接続について

- 1) 背面下部点検蓋を取り外してください。
- 2) 主電源用プロテクタCBEを“OFF(オフ)”にしてください。
- 3) 底面に入線蓋と取付けています。  
入線蓋取付用M4ネジ(L=10)4本をプラスドライバーで取り外して、出車注意灯から入線蓋を取り出してください。
- 4) 入線蓋には、膜付グロメット2個(内径φ14)を取付けています。  
膜付グロメットの膜をカッターナイフ等で切り、電線を膜付グロメットに通してください。
- 5) 入線蓋を元通りに取付用M4ネジ4本で取付けてください。



- 6) 感電事故防止のため、出庫警報灯内部側面のアース端子に、必ずD種接地のアース線を接続してください。  
アース端子の仕様は下記のとおりです。

適合電線	2.2 mm <sup>2</sup> 以下
通電最大電流	30 A
端子ネジ	M6
推奨締付トルク	3.0 ~ 4.0 N・m

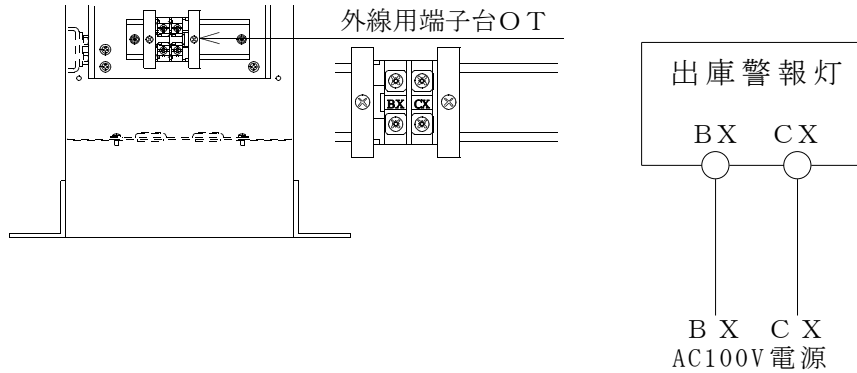
**■ けがや事故などを防ぐために**

<b>警告</b>	
 必ず守る	<p>● 出車注意灯本体にはD種接地(接地抵抗100Ω以下)のアース線を接続する。 その際に強電設備とは独立したD種接地に接続する。 感電の原因となります。</p>

7) 外線用端子台OTに、電線を接続してください。

外線用端子台OTの仕様は下記のとおりです。

適合電線	5.5 mm <sup>2</sup> 以下
最大通電電流	40 A
端子ネジ	M4
適合圧着端子	1.25-4 ~ 5.5-4
推奨締付トルク	1.4 ~ 2.0 N・m



- 端子記号「BX」「CX」にAC100V（50Hz/60Hz）電源線を接続してください。

#### ■ けがや事故などを防ぐために

⚠ 警告	
⚠ 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内部の点検を行うときは、必ず出庫注意灯にAC100Vが通電されていないことを確認する。 出庫注意灯にAC100Vが通電されたままで作業すると、感電や、やけどの原因となります。</li> </ul>

# 7. 主電源用プロテクタについて

出庫警報灯に内蔵している主電源用プロテクタCBEは、5A以上の過電流を検知すると、“トリップ”して、出庫警報灯へのAC100Vを遮断します。

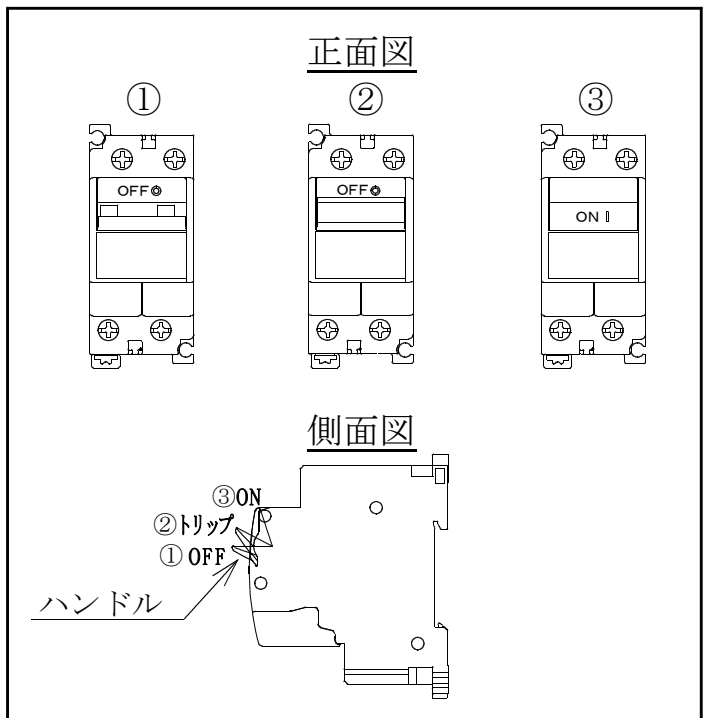
主電源用プロテクタが落ちた（“OFF(オフ)”になった）場合は、出庫警報灯の容量オーバー、またはショートなどが考えられます。

出庫警報灯の点検、またはサービス会社にご連絡ください。

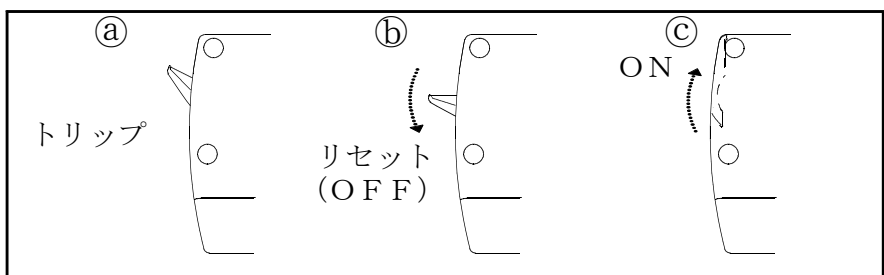
## 7-1. 主電源用プロテクタの確認・操作方法

主電源用プロテクタのハンドルの位置で状態を確認できます。

- ①：“OFF(オフ)”（AC100V遮断）の状態です。
- ②：過電流を検知して“トリップ”（AC100V遮断）した状態です。
- ③：“ON(オン)”（AC100V通電）の状態です。



主電源用プロテクタの“トリップ”を解除する場合は、下記の手順に従ってください。



- ①：主電源用プロテクタのハンドルは“トリップ”状態になると、中間位置になります。
- ②：主電源用プロテクタのハンドルを引き下げて“OFF(オフ)”にしてください。“トリップ”状態がリセットされます。
- ③：主電源用プロテクタのハンドルを“ON(オン)”の位置まで押し上げてください。“ON(オン)”（AC100V通電）の状態になります。

『ご注意』

“トリップ”状態から、再度“ON(オン)”にする場合は、出庫警報灯内部に異常がないか点検を行い、安全を確認した後で“ON(オン)”の操作を行ってください。

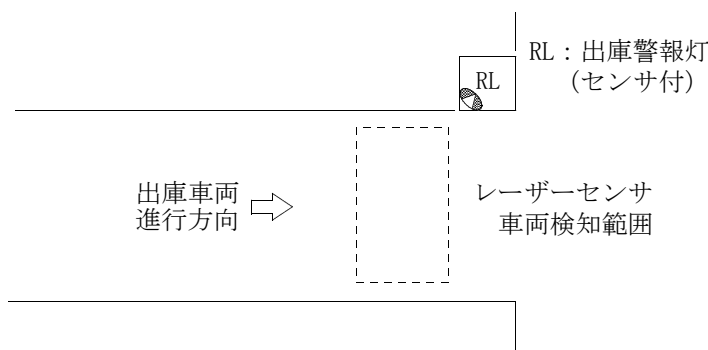
## 8. 動作について

### 8-1. 出庫警報灯の始動

出庫警報灯の背面下部点検蓋を取り外し、主電源プロテクタCBEのハンドルを押し上げて“ON(オン)”にしてください。

ロジックリレーLRYに画面を表示して、約3秒後に出庫警報灯は、動作可能状態になります。

### 8-2. 出庫動作





- 1) 車両が進行して、レーザーセンサ車両検知範囲に車両が入ると、レーザーセンサが動作（“車両検知”信号を受信）して、出庫警報灯の黄色回転灯が動作し、電子ブザーが鳴動します。
- 2) その後、さらに車両が進行して、レーザーセンサ車両検知範囲外に車両が出ると、レーザーセンサが復旧（“車両検知”信号が復旧）して、信号灯タイマーT1が動作を開始します。
- 3) 信号灯タイマーT1の設定時間が経過すると、出庫警報灯の黄色回転灯が停止して、電子ブザーの鳴動も停止します。
- 4) 信号灯タイマーT1動作中に、新たにレーザーセンサ車両検知範囲に車両が入ると、レーザーセンサが動作（“車両検知”信号を受信）して、信号灯タイマーT1の動作をリセットして、レーザーセンサの復旧で信号灯タイマーT1は再度、動作を開始します。

### 8-3. 出庫警報灯の停止

出庫警報灯の背面下部点検蓋を取り外し、主電源用プロテクタCBEのハンドルを引き下げて“OFF(オフ)”にしてください。出庫警報灯は停止します。

#### ■ けがや事故などを防ぐために

 <b>警告</b>	
 必ず守る	●点検蓋を取り外すときは、必ず手で点検蓋を押さえて、下部点検蓋を落下させないこと。 けがの原因となります。

## 8-4. 電子ブザーを停止させるには

### 1. 電子ブザー停止

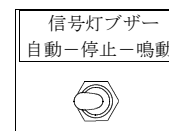
出庫警報灯内部の【信号灯ブザー】スイッチ操作、またはロジックリレーLRY内蔵の24時間タイマーの信号灯ブザー停止時間帯設定で、黄色回転灯が動作したときの電子ブザーの鳴動を、停止させることができます。

【信号灯ブザー】スイッチを操作する場合、またはロジックリレーLRY内蔵の24時間タイマーの設定を行う場合は、出庫警報灯の背面上部点検蓋を取り外してください。

### 2. スイッチ操作での電子ブザー停止

【信号灯ブザー】スイッチで信号灯ブザー停止を自動回路で制御を行うか（“自動”）、手動で行うか（“停止”、“鳴動”）を選択します。

スイッチ位置	制御動作
自動	24時間タイマーで制御します。
停止	24時間タイマーに関係なく強制的に電子ブザーは停止します。
鳴動	24時間タイマーに関係なく強制的に電子ブザーは鳴動します。



### 3. 自動での電子ブザー停止

ロジックリレーLRYで信号灯ブザー停止時間帯を設定してください。

電子ブザーの自動停止を行う場合は、【信号灯ブザー】スイッチのレバーを“自動”側に倒してください。

信号灯ブザー停止時間帯になると、黄色回転灯が動作したときの電子ブザーの鳴動を、自動で停止します。

⇒信号灯ブザー停止時間帯の設定については、9-4項を参照してください。

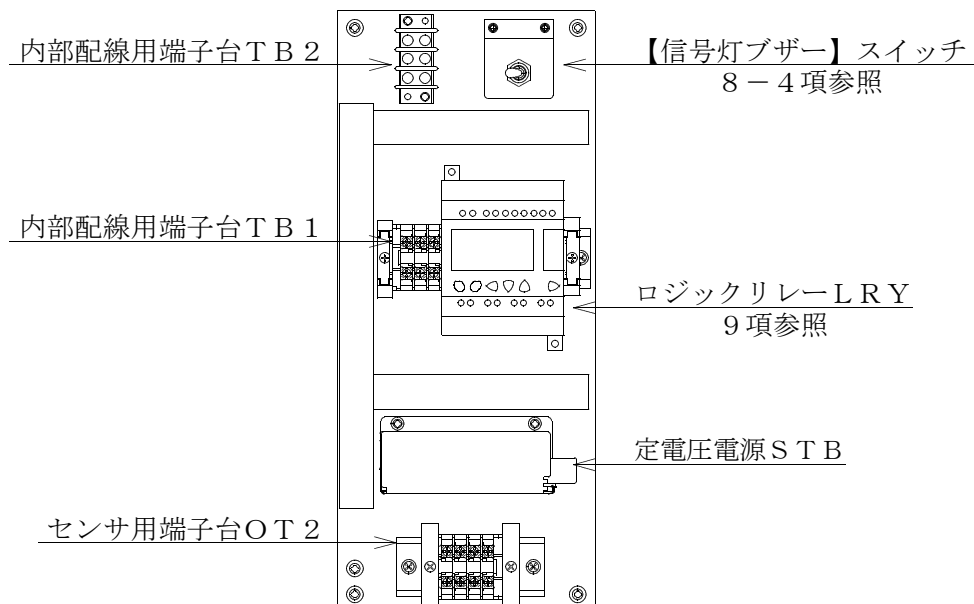
## 9. ロジックリレーについて

出庫警報灯の制御は、背面上部点検口内部の内部制御部のロジックリレーLR Yで行っています。

ロジックリレーで各制御値（タイマー設定値など）を設定してください。

停電時でも曜日、および時刻は、ロジックリレー内蔵電池で約10年間保持します。

なお、内蔵電池は交換できません。

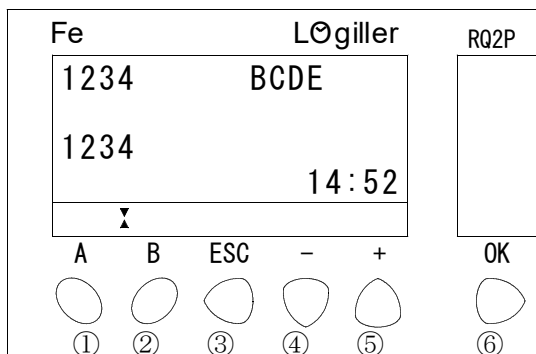


### ■ けがや事故などを防ぐために

⚠ 注意	
<b>⚠</b> 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 点検蓋を取り外すときは、必ず手で点検蓋を押さえて、点検蓋を落下させないこと。 けがの原因となります。</li> <li>● 内部の点検を行うときは、必ず主電源用プロテクタを“OFF (オフ)”にする。 主電源プロテクタを“ON (オン)”にしたままで作業すると、感電や、やけどの原因となります。</li> </ul>

## 9-1. ロジックリレーの操作ボタンについて

各制御値（タイマー設定値など）は、ロジックリレー前面の操作ボタン①～⑥を使用して設定してください。



- ①：【A】ボタン
- ・「タイマー設定」画面を表示するときに使用します。
  - ・「タイマー設定」画面から「状態表示」画面に戻るときに使用します。
- ②：【B】ボタン
- 使用しません。
- ③：【ESC】ボタン
- ・各タイマーの設定値の変更を取り消すときに使用します。
  - ・前の画面に戻るときに使用します。
- ④：【-】ボタン
- ・画面表示の項目を下、または右に移動するときに使用します。
  - ・タイマーの設定値を減少させるときに使用します。
- ⑤：【+】ボタン
- ・画面表示の項目を上、または左に移動するときに使用します。
  - ・タイマーの設定値を増加させるときに使用します。
- ⑥：【OK】ボタン
- ・タイマーの設定値を決定するときに使用します。
  - ・メニュー項目を決定するときに使用します。
  - ・「メニュー」画面を表示するときに使用します。

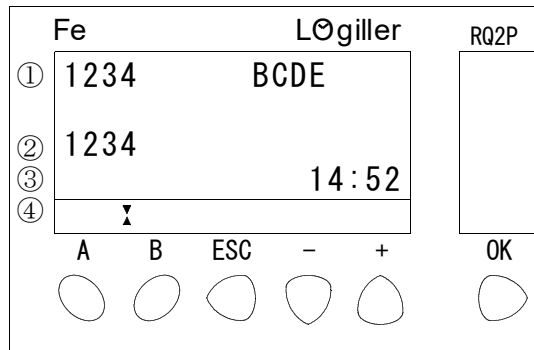


## 9-2. ロジックリレーの画面について

### 1. 状態表示画面

ロジックリレーLRYが動作状態（電源“ON(オン)”）になると、最初に表示する画面です。

この画面では、ロジックリレーへの入力信号の状態、ロジックリレーからの出力信号の状態、および現在の時刻を表示します。



#### ①：[1 2 3 4 B C D E]

各入力信号の状態を表示します。入力信号が“ON(オン)”（信号受信中）の端子は反転表示（白抜き文字）になります。

例えば、[**1** 2 3 4 B C D E]と表示している場合は、入力端子 I 1 の入力信号が“ON(オン)”になっています。

入力端子	画面表示	反転表示（白抜き文字）になる条件
I 1	1	レーザーセンサから“車両検知”信号を受信中
I 2～I E	2～E	未使用

#### ②：[1 2 3 4]

各出力信号の状態を表示します。出力信号が“ON(オン)”（接点“閉”）の端子は反転表示（白抜き文字）になります。

例えば、[**1 2** 3 4]と表示している場合は、出力端子 O 1 および O 2 の出力信号が“ON(オン)”になっています。

出力端子	画面表示	反転表示（白抜き文字）になる条件
O 1	1	黄色回転灯が動作中
O 2	2	電子ブザーが自動鳴動中
O 3、O 4	3、4	未使用

#### ③：[1 4 : 5 2]

現在の時刻（14時52分）を24時間制で表示します。

#### ④：“動作マーク”

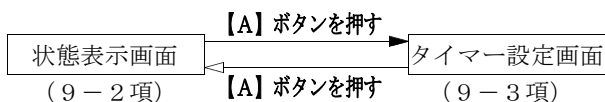
ロジックリレーの動作状態をアニメーションで表示します。

“RUN”（運転）のときは、三角マークが反時計方向に回転します。

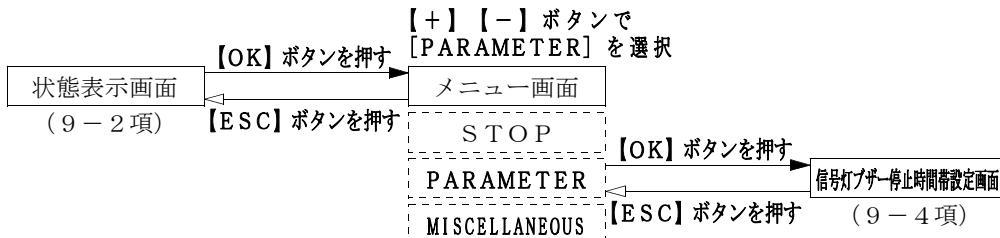
“STOP”（停止）のときは、三角マークの回転が停止します。

2. 画面構成

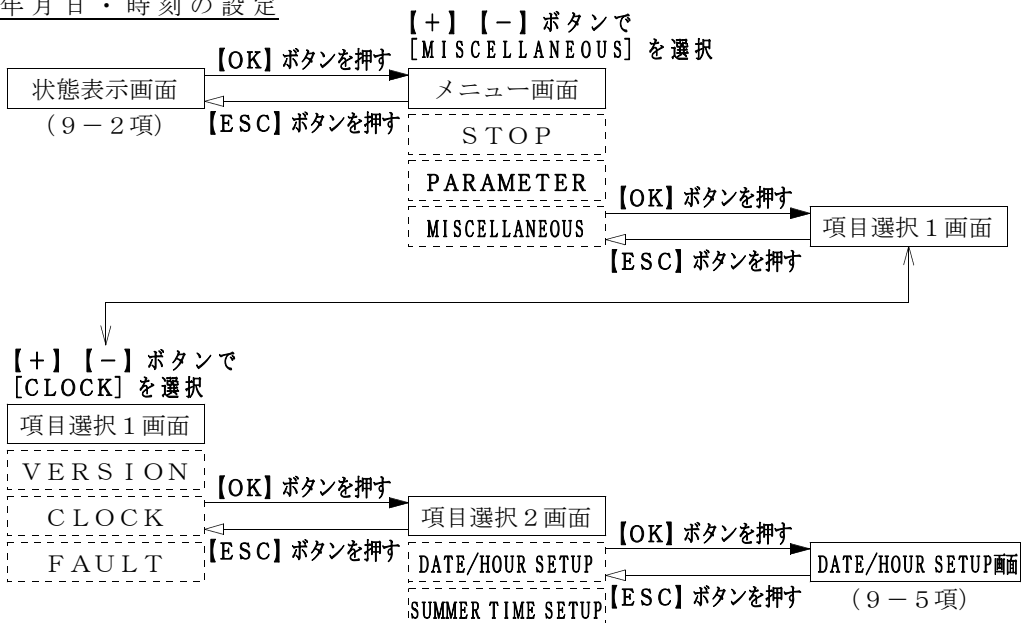
信号灯タイマーの設定



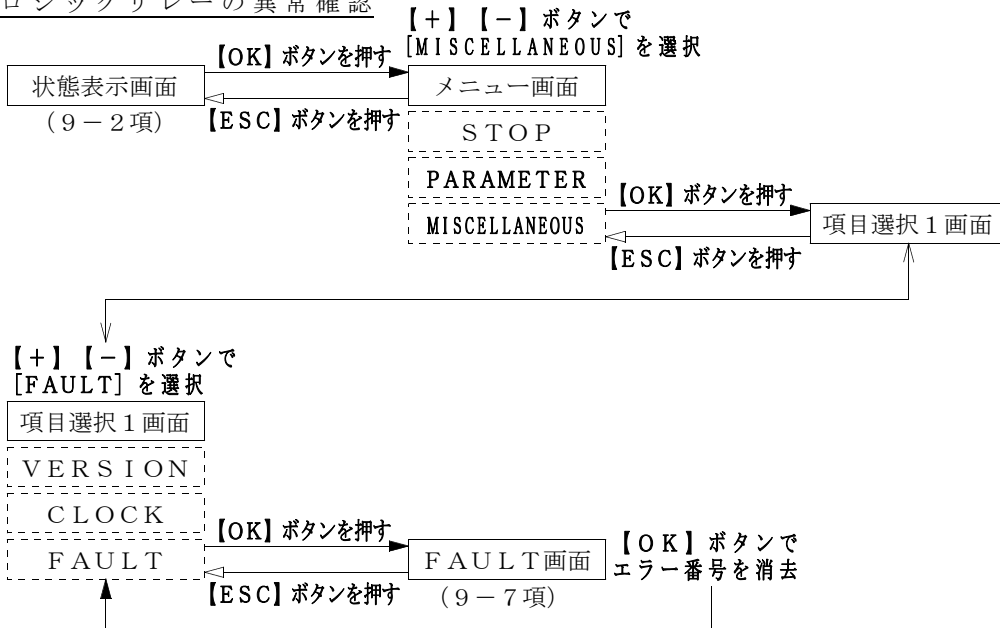
信号灯ブザー停止時間帯の設定



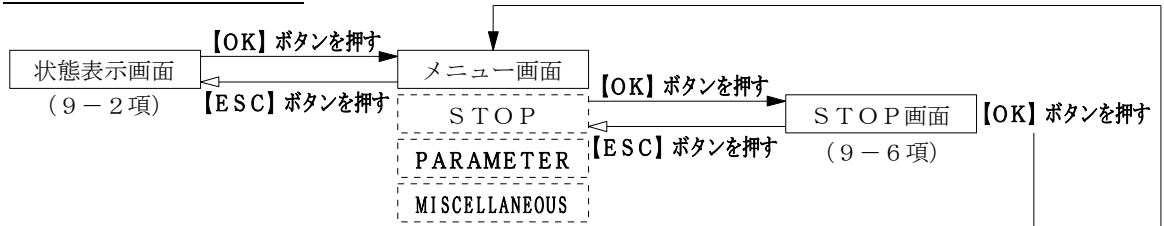
年月日・時刻の設定



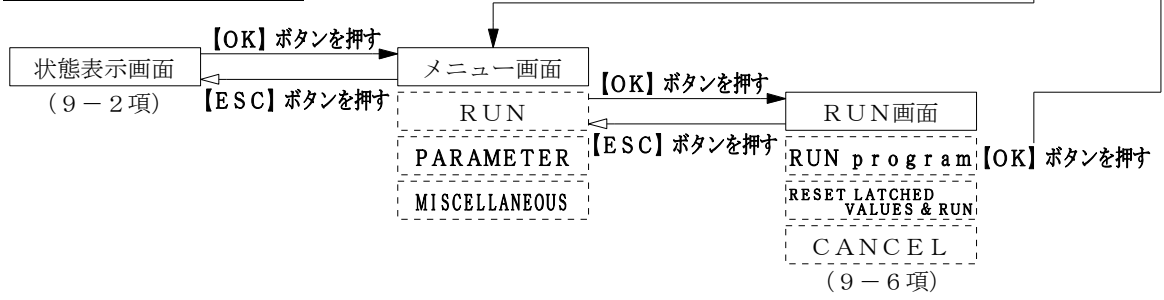
ロジックリレーの異常確認



ロジックリレーの停止



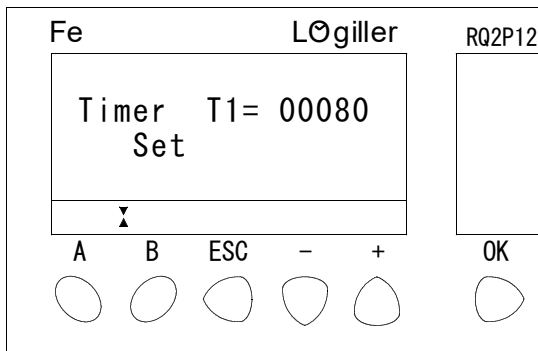
ロジックリレーの運転



### 9-3. 信号灯タイマーを設定するには

#### 1. タイマー設定画面

- a. ロジックリレーLR Yが“RUN（運転）”のときに、「状態表示」画面で【A】ボタンを押すと、下記画面を表示します。  
この画面では、信号灯タイマーT 1の時間を設定します。



『ご注意』  
 信号灯タイマーT 1の設定単位は、0. 1秒です。  
 たとえば、“80”と表示している場合は、8. 0秒になります。  
 また、“3”と表示している場合は、0. 3秒になります。

- b. 上記画面で【A】ボタンを押すと、タイマー設定を終了して、「状態表示」画面に戻ります。

#### 2. 設定番号表

タイマーの指定は、タイマー番号（T 1）で行います。

タイマー番号	設定内容	初期値	設定範囲
T 1	信号灯タイマー	8. 0秒(00080)	1. 0～99. 9秒

( ) 内の数値は画面表示を表します。

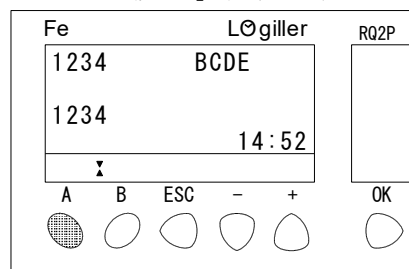
『注記』初期値は工場出荷時の値です。現地調整で変更している場合があります。

## 3. 設定例（信号灯タイマー）

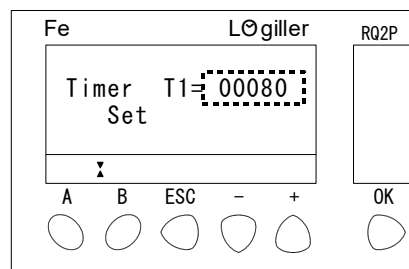
信号灯タイマーT1の設定値を“8”秒から“20”秒にする場合の設定例です。ここに記載している画面は、ロジックリレーが“RUN”（運転）している状態です。

- a. 「状態表示」画面で【A】ボタンを押すと、「タイマー設定」画面を表示します。

右図は、「状態表示」画面です。

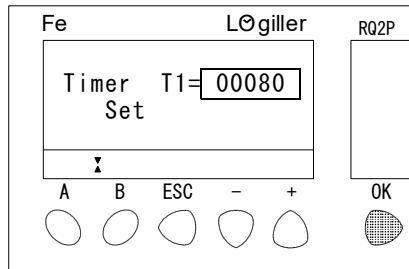


- b. 信号灯タイマーT1の設定値と“■■■■■”を交互点滅していることを確認してください。



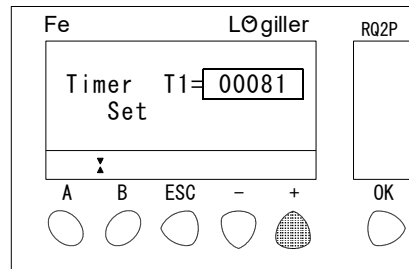
- c. 【OK】ボタンを押して、変更する設定項目を確定してください。

設定値が点滅して、設定値の変更が可能になります。



- d. 【+】ボタンを押してください。1回押すと“+1”（+0.1秒）します。

ボタンを押し続けると連続して変化します。設定値が行き過ぎたときは【-】ボタンを押してください。1回押すと“-1”（-0.1秒）します。



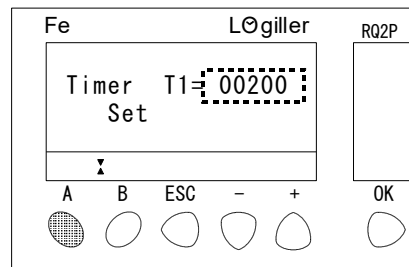
- e. 設定値を“200”（20秒）に変更すると設定完了です。

【OK】ボタンを押すと、設定値を確定します。

【ESC】ボタンを押すと、設定値が変更前の値に戻ります。

設定値と“■■■■■”が交互点滅して、選択しているタイマー番号を示します。

- f. 【A】ボタンを押すと、タイマー設定を終了して、「状態表示」画面に戻ります。



## 9-4. 信号灯ブザー停止時間帯を設定するには

1. 信号灯ブザー停止時間帯

ロジックリレーLR Yで信号灯ブザー停止時間帯を設定すると、黄色回転灯が動作したときの電子ブザーの鳴動を自動で停止させることができます。

2. 設定表

設定内容	初期値	設定範囲
信号灯ブザー停止時間帯	20:00~07:00	24時間制

『注記』 初期値は工場出荷時の値です。現地調整で変更している場合があります。

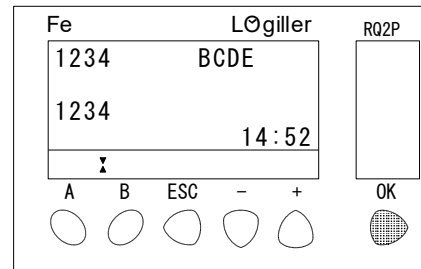
『ご注意』

信号灯ブザー停止時間帯の開始時間と終了時間を同一時刻に設定すると、電子ブザーは停止します。

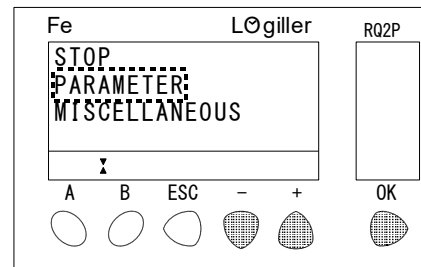
3. PARAMETER（信号灯ブザー停止時間帯）画面

ここに記載している画面は、ロジックリレーが“RUN（運転）”している状態です。

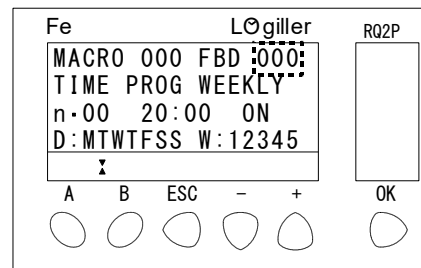
- a. 「状態表示」画面で【OK】ボタンを押してください。  
「メニュー」画面を表示します。









- b. 「メニュー」画面で【+】ボタンまたは【-】ボタンを押して、“PARAMETER”と“■■■■■■■■■■”を交互点滅させて、【OK】ボタンを押してください。  
「信号灯ブザー停止時間帯」画面を表示します。



- c. 「信号灯ブザー停止時間帯」画面では、“000”と“■■■”が交互に点滅して、選択している項目を示します。  
なお、“000”の数値は変更できません。



## 4. 信号灯ブザー停止時間帯設定画面表示内容

Fe		LØgiller			RQ2P
MACRO 000 FBD 000①					
TIME PROG WEEKLY					
②	n·00		20:00	ON	
③	D:MTWTFSS W:12345④				
↓					
A	B	ESC	-	+	OK
					

## ①：“000”

タイマー番号を表します。

信号灯ブザー停止時間帯の設定です。

## ②：“n・00 20:00 ON”

設定番号を表します。

信号灯ブザー停止を開始する時間を表します（24時間制）。

図の場合、信号灯ブザー停止開始時間は“20”時“00”分です。

n・00 : 信号灯ブザー停止開始時間の設定番号です。

信号灯ブザー停止終了時間を設定する場合は、“01”に設定します。

20:00 : 信号灯ブザー停止を開始する時間です。

ON : 信号灯ブザー停止“ON”（開始時間）を表します。

## 『ご注意』

曜日ごとに違う停止開始時間、または停止終了時間の設定はできません。

各曜日共通の停止開始時間、および停止終了時間の設定になります。

## ③：“D:MTWTFSS”

信号灯ブザー停止を行う曜日を表します。

この設定項目は、変更しないでください。

信号灯ブザー停止を行わない曜日は“-”（ハイフン）表示になります。

曜日対応表

画面表示	M	T	W	T	F	S	S
曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日

図の場合、月曜日から日曜日まで信号灯ブザー停止を行う設定です。

## ④：“W:12345”

信号灯ブザー停止を行う週を表します。

この設定項目は、変更しないでください。

信号灯ブザー停止を行わない週は“-”（ハイフン）表示になります。

週対応表

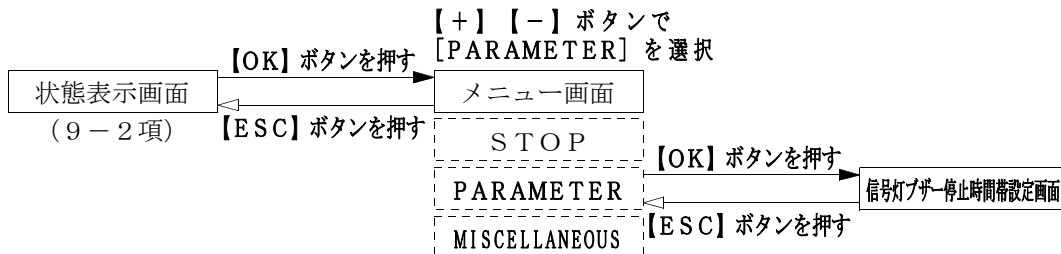
画面表示	1	2	3	4	5
該当する日	1日～7日	8日～14日	15日～21日	22日～28日	29日～31日

図の場合、第1週から第5週まで信号灯ブザー停止を行う設定です。

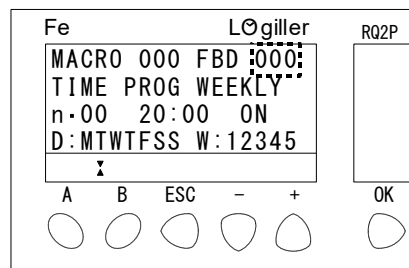
5. 設定例 (信号灯ブザー停止時間帯)

信号灯ブザー停止時間帯の設定値を“20:00~7:00”から“19:00~8:00”にする場合の設定例です。

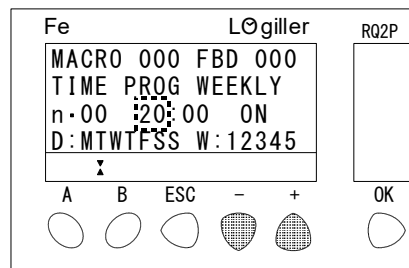
ここに記載している画面は、ロジックリレーが“RUN (運転)”している状態です。



- a. 9-4-1項の手順に従い、「信号灯ブザー停止時間帯設定」画面を表示させてください。  
“000”を表します。

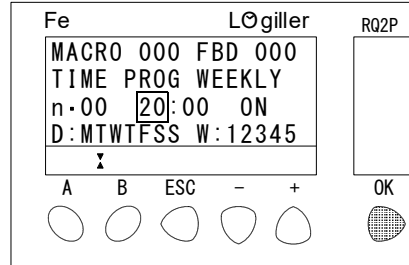


- b. 信号灯ブザー停止開始時間を設定します。  
【-】ボタン、または【+】ボタンを押して設定値“20”時を“■■■”と交互点滅させてください。

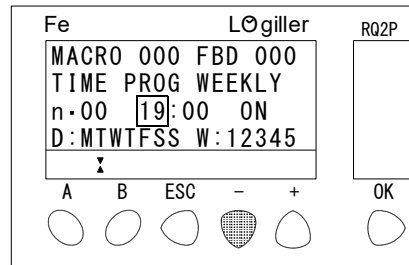


信号灯ブザー停止終了時間を設定する場合は、f項から操作してください。

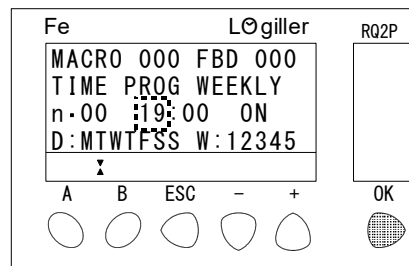
- c. 【OK】ボタンを押して設定値“20”時を点滅させてください。



- d. 【-】ボタンを1回押してください。“19”になります。  
これで信号灯ブザー停止開始時間が“19”時“00”分になります。



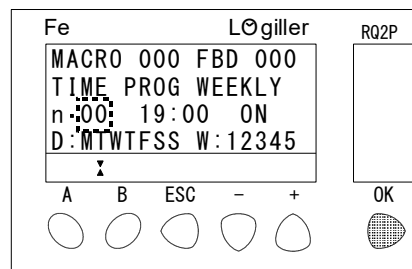
- e. 【OK】ボタンを押すと設定値を確定します。  
【ESC】ボタンを押すと、設定値が変更前の値に戻ります。  
設定値と“■■■”が交互点滅して、選択している項目を示します。



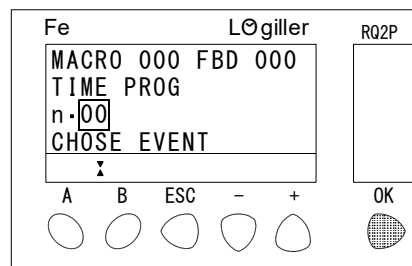


- f. 信号灯ブザー停止終了時間を設定するため、  
【+】ボタン、または【-】ボタンを押して  
設定項目 n・“00”を“■ ■”と交互点滅  
させてください。

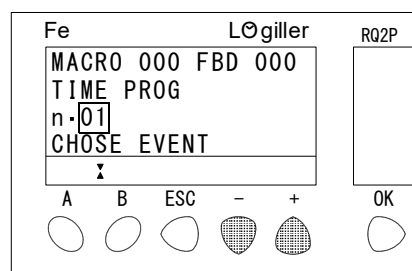
なお、信号灯ブザー停止開始時間を変更した  
場合は、“00”と“■ ■”の交互点滅せず  
に“00”は点灯のまま、h項の状態になり  
ます。



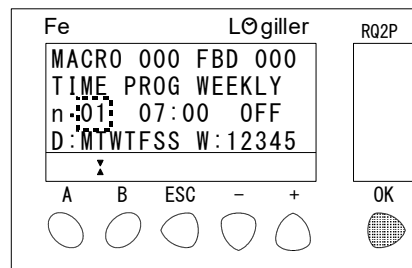
- g. 【OK】ボタンを押すと設定項目 n・“00”  
が点滅して、変更が可能になります。



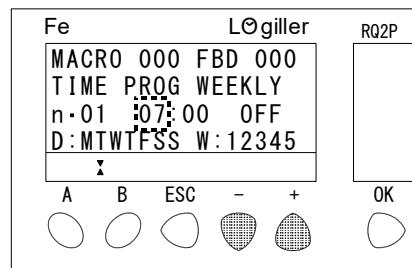
- h. 【+】ボタン、または【-】ボタンを押して  
“01”に設定してください。



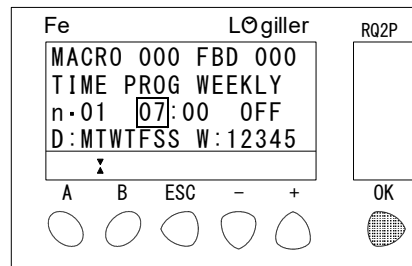
- i. 【OK】ボタンを押すと信号灯ブザー停止終  
了時間を表示します。  
また、設定項目 n・“01”と“■ ■”が交  
互点滅して、選択している項目を示します。



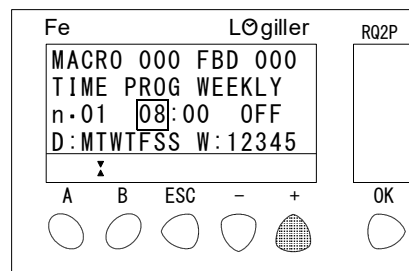
- j. 【-】ボタン、または【+】ボタンを押して  
設定値“07”時を“■ ■”と交互点滅させ  
てください。



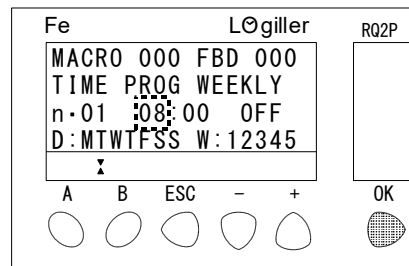
- k. 【OK】ボタンを押して設定値“07”時を  
点滅させてください。



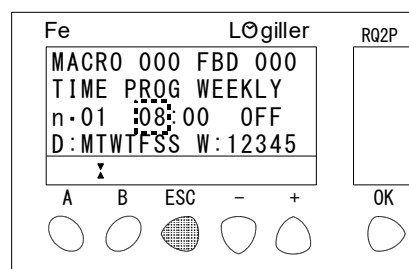
- 1. 【+】 ボタンを1回押してください。“08” になります。  
これで信号灯ブザー停止終了時間が“08” 時“00”分になります。



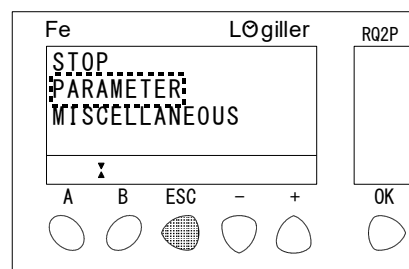
- m. 【OK】 ボタンを押すと設定値を確定します。  
【ESC】 ボタンを押すと、設定値が変更前の値に戻ります。  
設定値と“■■”が交互点滅して、選択している項目を示します。



- n. 【ESC】 ボタンを押すと、信号灯ブザー停止時間帯の設定を終了して、「メニュー」画面に戻ります。



- o. 【ESC】 ボタンを再度押すと、「状態表示」画面に戻ります。



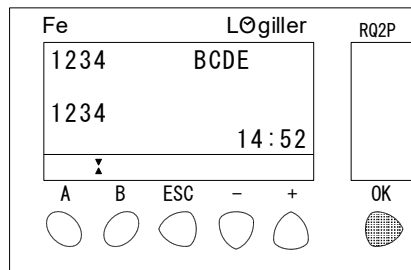
## 9-5. 年月日、時刻を設定するには

1. DATE/HOUR SETUP (年月日・時刻設定) 画面の選択

年月日および時刻の設定は、DATE/HOUR SETUP画面で行います。

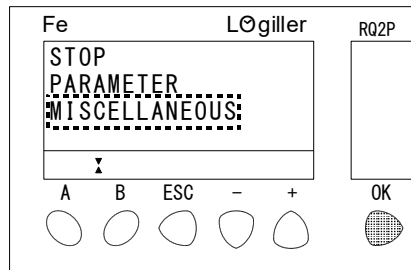
- a. 「状態表示」画面で【OK】ボタンを押してください。

「メニュー」画面を表示します。



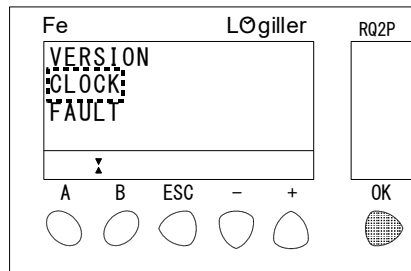
- b. 「メニュー」画面で【+】ボタンまたは【-】ボタンを押して、[MISCELLANEOUS]と[■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■]が交互点滅していることを確認して、【OK】ボタンを押してください。

「項目選択1」画面を表示します。

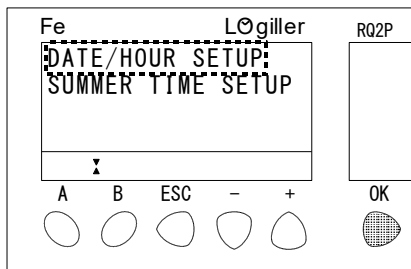


- c. 「項目選択1」画面で【+】ボタンまたは【-】ボタンを押して、[CLOCK]と[■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■]が交互点滅していることを確認して、【OK】ボタンを押してください。

「項目選択2」画面を表示します。

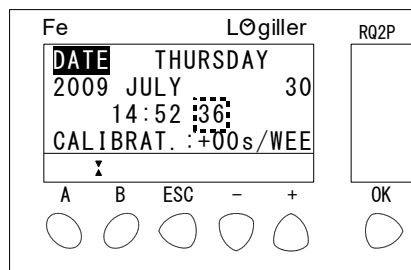


- d. 「項目選択2」画面で【+】ボタンまたは【-】ボタンを押して、[DATE/HOUR SETUP]と[■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■]が交互点滅していることを確認して、【OK】ボタンを押してください。

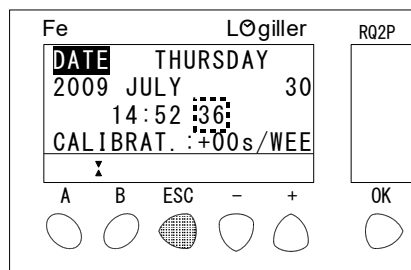


- e. 「DATE/HOUR SETUP」画面を表示します。

この画面で、年月日・時刻を設定します。

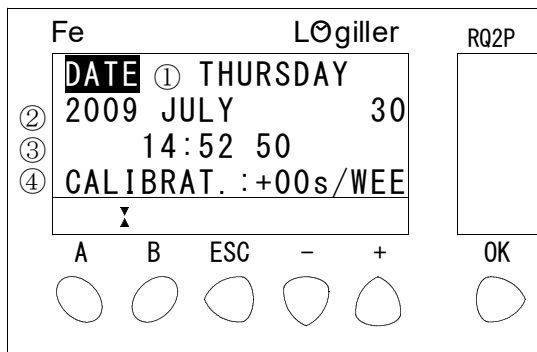


- f. 【ESC】ボタンを4回押すと、「状態表示」画面に戻ります。



2. DATE/HOUR SETUP (年月日・時刻設定) 画面

「DATE/HOUR SETUP」画面の表示内容を説明します。



①：“THURSDAY”

現在の曜日（THURSDAY：木曜日）を表しています。

カレンダーを内蔵しているため、年月日を変更すると曜日は自動的に変わります（曜日のみの変更はできません）。

②：“2009 JULY 30”

現在の年月日（2009年 7月 30日）を表しています。

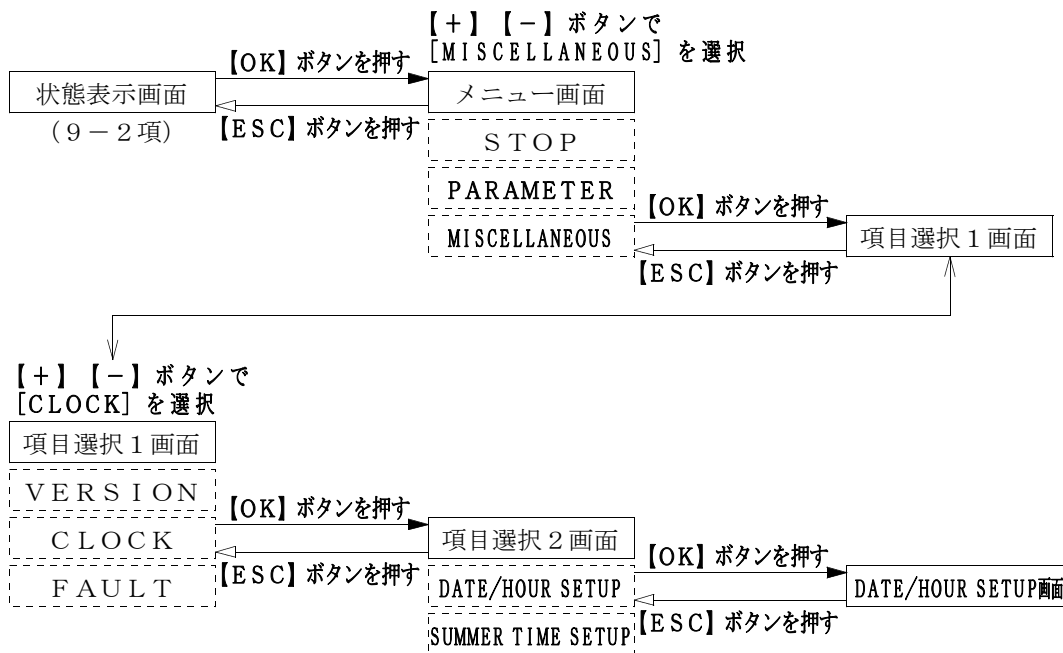
③：“14:52 50”

現在の時刻（14時52分50秒）を表しています。

時刻は24時間制です。

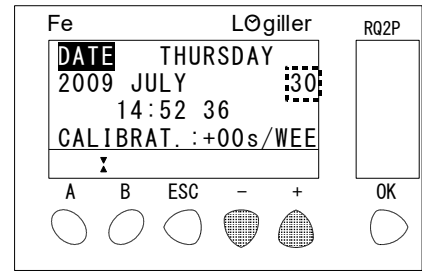
④：“CALIBRAT.: +00s/WEE”

1週間あたりの時刻ずれの補正值（00秒）を表しています。

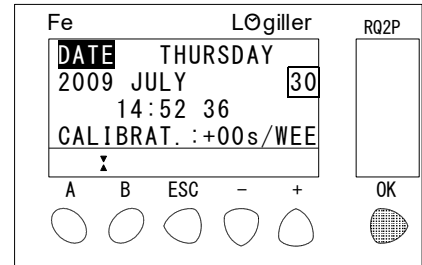


## 3. 日設定

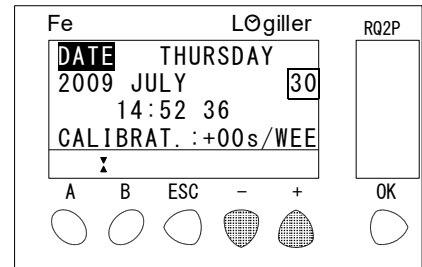
- a. 「DATE/HOUR SETUP」画面で、  
【+】ボタン、または【-】ボタンを押して、  
[日]と“■■”を交互点滅させてください。  
右図では“30”が[日]を表しています。



- b. 【OK】ボタンを押して“30”日を点滅させてください。



- c. [日]を進めるときは【+】ボタンを押してください。1回押すと“+1”します。  
[日]を戻すときは【-】ボタンを押してください。1回押すと“-1”します。  
ボタンを押し続けると連続して変化します。



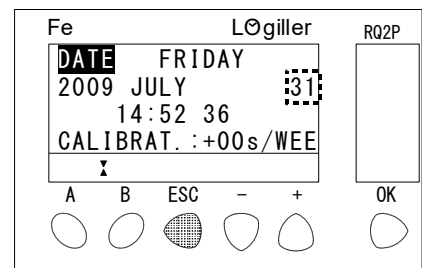
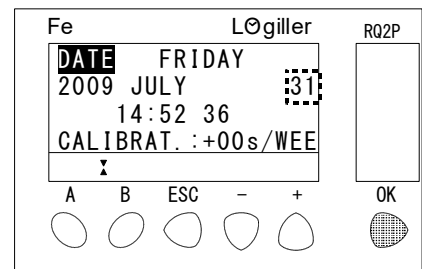
- d. 【OK】ボタンを押すと[日]の変更を確定します。

【ESC】ボタンを押すと、[日]の変更を取り消して、変更前の[日]に戻ります。

[日]と“■■”が交互点滅して、選択している項目を示します。

カレンダーを内蔵しているので、[日]を変更すると、自動的に曜日が変わります。

- e. 【ESC】ボタンを押すと、「項目選択2」画面に戻ります。





## 5. 年設定

設定範囲は、2000年～2099年です。

- a. 「DATE/HOUR SETUP」画面で、  
【+】ボタン、または【-】ボタンを押して、  
[年]と“■■■■”を交互点滅させてください。

右図では“2009”が[年]を表しています。

- b. 【OK】ボタンを押して“2009”年を点滅させてください。

- c. [年]を進めるときは【+】ボタンを押してください。1回押すと“+1”します。

[年]を戻すときは【-】ボタンを押してください。1回押すと“-1”します。

ボタンを押し続けると連続して変化します。

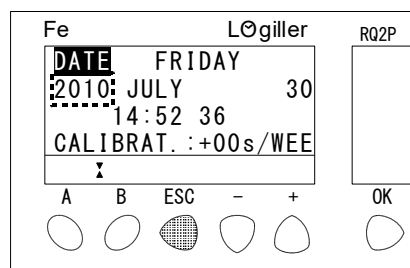
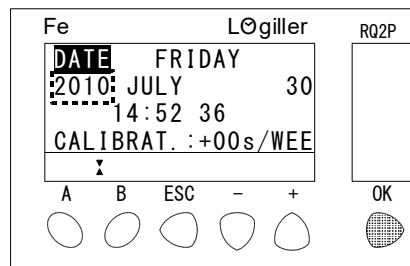
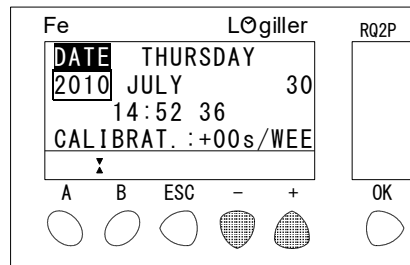
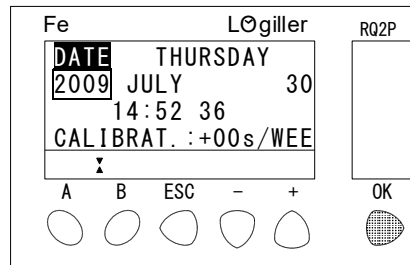
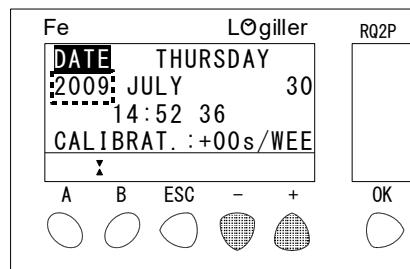
- d. 【OK】ボタンを押すと[年]の変更を確定します。

【ESC】ボタンを押すと、[年]の変更を取り消して、変更前の[年]に戻ります。

[年]と“■■■■”が交互点滅して、選択している項目を示します。

カレンダーを内蔵しているので、[年]を変更すると、自動的に曜日が変わります。

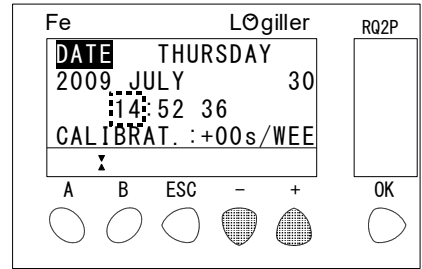
- e. 【ESC】ボタンを押すと、「項目選択2」画面に戻ります。



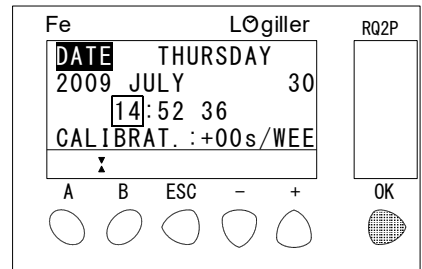
6. 時刻（時）設定

時刻は24時間制で設定してください。

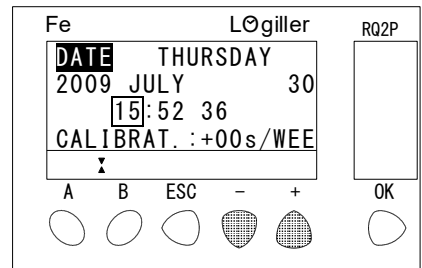
- a. 「DATE/HOUR SETUP」画面で、  
【+】ボタン、または【-】ボタンを押して、  
[時]と“■■”を交互点滅させてください。  
右図では“14”が[時]を表しています。



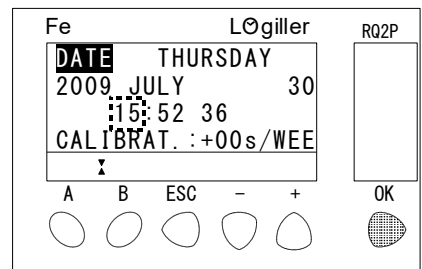
- b. 【OK】ボタンを押して“14”時を点滅させてください。



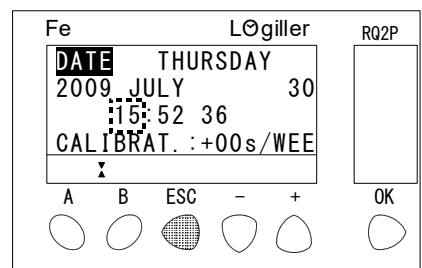
- c. [時]を進めるときは【+】ボタンを押してください。1回押すと“+1”します。  
[時]を戻すときは【-】ボタンを押してください。1回押すと“-1”します。  
ボタンを押し続けると連続して変化します。



- d. 【OK】ボタンを押すと[時]の変更を確定します。  
【ESC】ボタンを押すと、[時]の変更を取り消して、変更前の[時]に戻ります。  
[時]と“■■”が交互点滅して、選択している項目を示します。



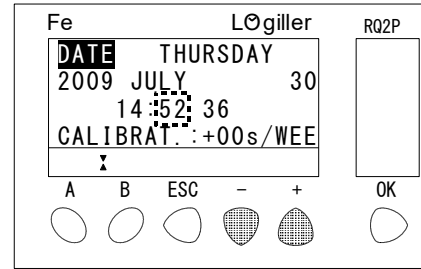
- e. 【ESC】ボタンを押すと、「項目選択2」画面に戻ります。



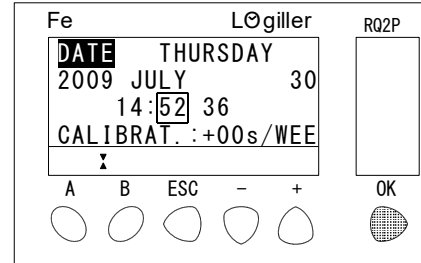


## 7. 時刻（分）設定

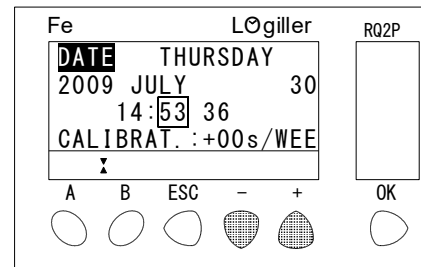
- a. 「DATE/HOUR SETUP」画面で、  
【+】ボタン、または【-】ボタンを押して、  
[分]と“■ ■”を交互点滅させてください。  
右図では“5 2”が[分]を表しています。



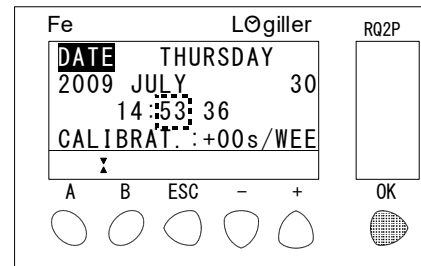
- b. 【OK】ボタンを押して“5 2”分を点滅させてください。



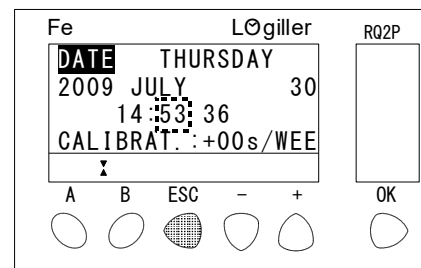
- c. [分]を進めるときは【+】ボタンを押してください。1回押すと“+1”します。  
[分]を戻すときは【-】ボタンを押してください。1回押すと“-1”します。  
ボタンを押し続けると連続して変化します。



- d. 【OK】ボタンを押すと[分]の変更を確定します。  
【ESC】ボタンを押すと、[分]の変更を取り消して、変更前の[分]に戻ります。  
[分]と“■ ■”が交互点滅して、選択している項目を示します。



- e. 【ESC】ボタンを押すと、「項目選択2」画面に戻ります。

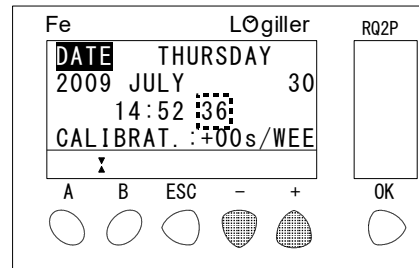


8. 時刻（秒）設定

- a. 「DATE/HOUR SETUP」画面を選択すると、[秒]と“■■”が交互点滅していることを確認してください。

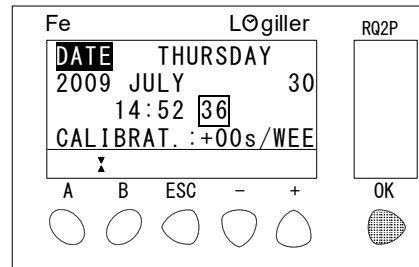
右図では“36”が[秒]を表しています。

[秒]と“■■”が交互点滅していない場合は、【+】ボタン、または【-】ボタンを押して、[秒]と“■■”を交互点滅させてください。



- b. 【OK】ボタンを押して“36”秒を点滅させてください。

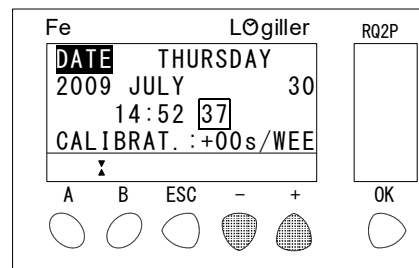
この時点で、画面の[秒]の表示は停止しますが、ロジックリレー内部の時刻は進んでいます。



- c. [秒]を進めるときは【+】ボタンを押してください。1回押すと“+1”します。

[秒]を戻すときは【-】ボタンを押してください。1回押すと“-1”します。

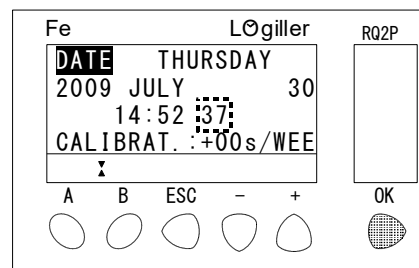
ボタンを押し続けると連続して変化します。



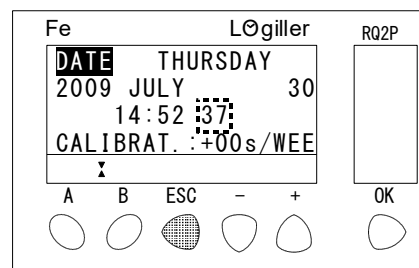
- d. 【OK】ボタンを押すと[秒]の変更を確定します。

【ESC】ボタンを押すと、[秒]の変更を取り消して、変更前の[秒]に戻ります。

[秒]と“■■”が交互点滅して、選択している項目を示します。



- e. 【ESC】ボタンを押すと、「項目選択2」画面に戻ります。



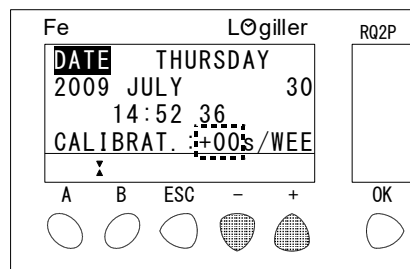
## 9. 1週間あたりの秒のずれを補正

1週間あたりの秒のずれを補正できます。

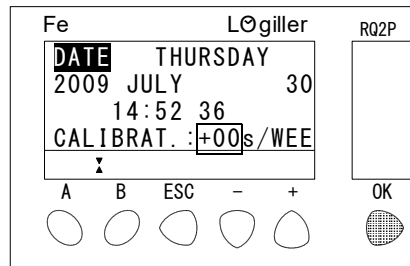
設定範囲は、-59秒～+59秒です。

- a. 「DATE/HOUR SETUP」画面で、  
【+】ボタン、または【-】ボタンを押して、  
[補正值]と“■■■”を交互点滅させてください。

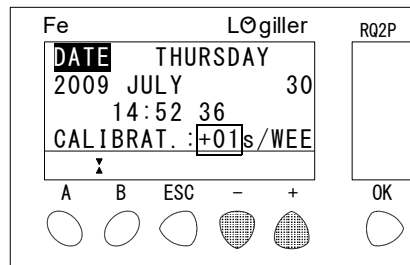
右図では“+00”が[補正值]を表しています。



- b. 【OK】ボタンを押して“+00”秒を点滅させてください。



- c. [補正值]を加算するときは【+】ボタンを押してください。1回押すと“+1”します。  
[補正值]を減算するときは【-】ボタンを押してください。1回押すと“-1”します。  
ボタンを押し続けると連続して変化します。

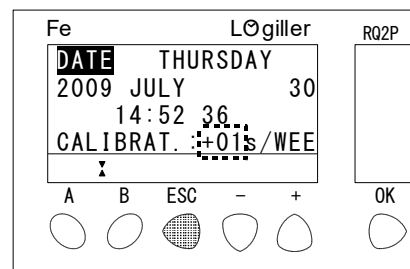
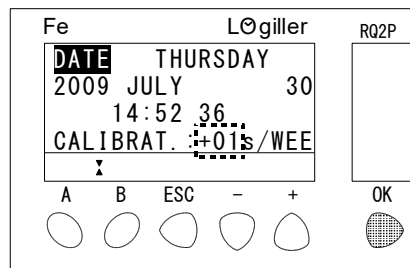


- d. 【OK】ボタンを押すと[補正值]の変更を確定します。

【ESC】ボタンを押すと、[補正值]の変更を取り消して、変更前の[補正值]に戻ります。

[補正值]と“■■■”が交互点滅して、選択している項目を示します。

- e. 【ESC】ボタンを押すと、「項目選択2」画面に戻ります。







## 9-7. ロジックリレーの異常を確認するには

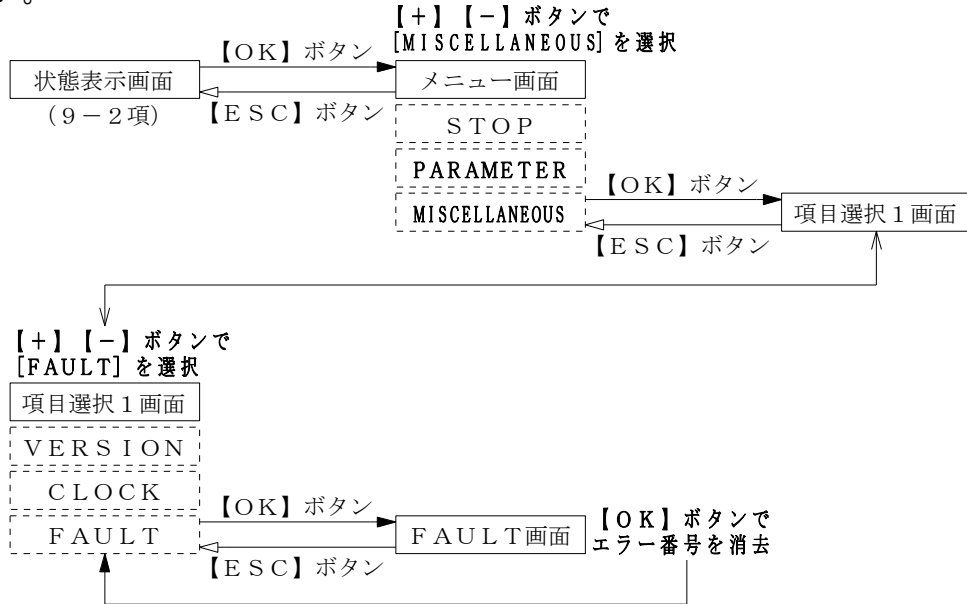
### 1. FAULT (エラー番号確認) 画面

ロジックリレー LRY に異常が発生すると、自動的にロジックリレーは“停止”して、出庫警報灯の動作も停止します。発生しているエラー番号を消去しないと、ロジックリレーを“運転”にすることはできません。

この画面では、ロジックリレーに発生したエラー番号の確認やエラー番号の消去を行います。

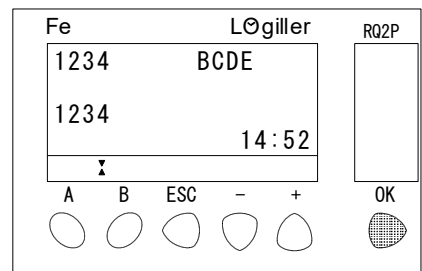
#### 『ご注意』

ロジックリレーのエラー（異常）が消去できない場合は、サービス会社にご連絡ください。

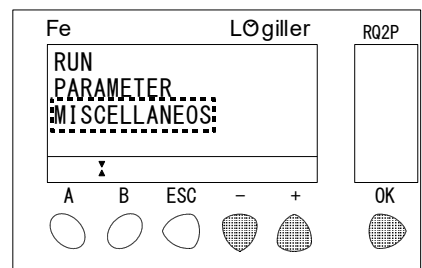


### 2. エラー番号の消去

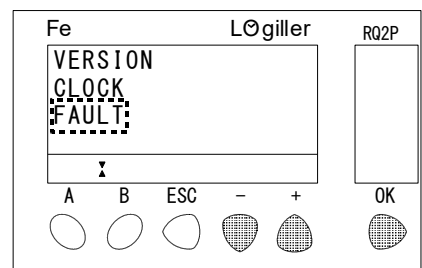
- a. 「状態表示」画面で【OK】ボタンを押してください。  
「メニュー」画面を表示します。



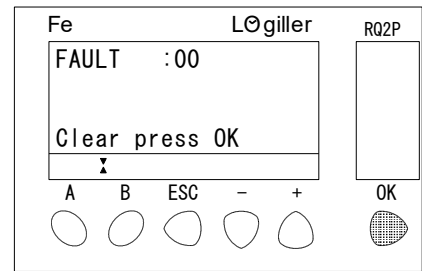
- b. 「メニュー」画面で【+】ボタンまたは【-】ボタンを押して、[MISCELLANEOUS] と “■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■” を点滅表示させ、【OK】ボタンを押してください。



- c. 「項目選択1」画面で【+】ボタンまたは【-】ボタンを押して、[FAULT] と “■■■■■■■■■■” が交互点滅していることを確認して、【OK】ボタンを押してください。



- d. 右図の“F A U L T : 0 0”がエラー番号を表示します。  
エラーが発生していない場合は、“0 0”になります。  
【OK】ボタンを押すと、エラー番号を消去して、c項に戻ります。



- e. 【ESC】ボタンを押すと、「メニュー」画面に戻ります。  
9-6項の手順で、ロジックリレーを“運転”にしてください。

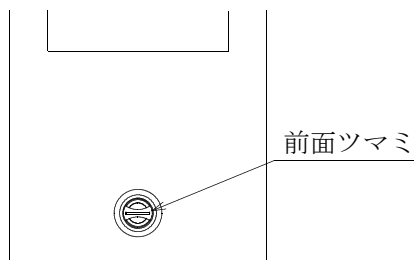
### 3. エラー番号一覧表

エラー番号	原因	処置
0 0	エラーなし	-----
0 2	時刻の書き込みエラー	サービス会社にご連絡ください。
5 0	ファームウェア、または制御プログラム	
5 2	プログラムの破壊	
5 8		
5 1	スキャンタイムが制御プログラムの実行時間より短い	

# 10. 電子ブザーの音量調節の方法

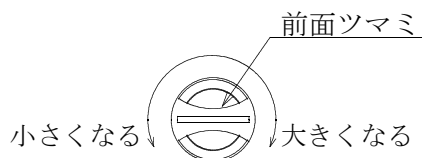
## 1) 電子ブザー B Z

出庫警報灯の前面に、電子ブザーを取り付けています。  
電子ブザーの前面つまみで音量調節ができます。



## 2) 電子ブザーの音量調節方法

電子ブザーの音量は、電子ブザーの前面つまみで調節してください。  
右に回しきった状態で音量が最大になり、左で音量が最小になります。



左に回しきっても電子ブザーの音は消せません。

# 11. レーザーセンサについて

出庫警報灯にはビーイーエージャパン株式会社 (BEA Japan Co.Ltd.) 製のレーザーセンサ (LZR-H800) を取付けています。

別紙「LZR-H800 取扱説明書」に従い、保護エリアとオープニングエリアの検知エリア (車両検知範囲) を設定してください。

『ご注意』

保護エリアとオープニングエリアの検知エリア (横幅m、奥行m) は、同じ値に設定してください。



設定項目	工場出荷時設定値	現地設定値	
取付位置による設定	「反射板無し」	反射板無し	
保護エリア (m)	横幅「2.2」、奥行「2.5」	横幅	奥行
オープニングエリア (m)	横幅「2.2」、奥行「2.5」	横幅	奥行
最小検知対象物	「1」(off)		
最大静止検知時間	「3」(30秒)		
検知ディレイ	「2」(200)		
出力設定	「0」(R1:オープニング R2:保護)	0	
リレー接点	「0」(R1:NO R2:NC)	0	
方向	「3」(前進200%)		
感度	「1」(標準)		





## 12. 保守点検時のご注意




出庫警報灯内部の点検を行うときは、出庫警報灯内部の主電源用プロテクタCBEのハンドルを引き下げて“OFF(オフ)”にした後、出庫警報灯にAC100Vが通電されていないことを、必ず確認してください。

### ■ 感電、火災、やけど、けがなどを防ぐために

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出庫警報灯に水をかけて清掃しない。 感電・漏電事故の原因となります。</li> <li>● 有機溶剤（ベンジンなど）をかけて清掃しない。 変色・変形の原因となります。</li> <li>● 清掃を行うときは、家庭用洗剤などを出庫警報灯内部にかけない。 感電・漏電事故の原因となります。</li> <li>● 製品をビニール袋や布、布団、服などで覆わない。 火災や製品が破損する原因となります。</li> </ul>

### ■ けがや事故などを防ぐために

 警告	
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 点検蓋を取り外すときは、必ず手で点検蓋を押さえて、点検蓋を落下させないこと。 けがの原因となります。</li> <li>● 内部の点検を行うときは、必ず主電源用プロテクタを“OFF(オフ)”にする。 主電源プロテクタを“ON(オン)”にしたままで作業すると、感電ややけどの原因となります。</li> <li>● 製品にサビが発生した場合は、必ず早期に補修する。 サビが発生したまま使用すると、製品が破損し感電や倒壊によるけがの原因になります。</li> </ul>

 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 絶縁抵抗計（メガー）を極間には使用しない。 電源～接地間で絶縁抵抗を測定するときは、主電源用プロテクタを“OFF(オフ)”にし、背面下部点検口の外線用端子台OT1の端子ねじ～接地間で実施してください。 極間に電子部品が接続されており、製品が破損する原因となります。</li> </ul>
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 動物などの排泄物が付着することが考えられる場合は、点検サイクルを短くして、安全確認を行う。 サビなどの腐食が促進され、製品倒壊の原因になります。</li> <li>● 取付部には、植栽などの土がかからないように管理する。 サビなどの腐食が促進され、製品倒壊の原因になります。</li> </ul>

# 13. 故障かな？と思ったら

出庫警報灯の動作がおかしいときは、ご購入店にお問い合わせになる前に、以下の項目をご確認ください。

症状	ここをご確認ください	項目(頁)
黄色回転灯が動作しない 電子ブザーが鳴らない	主電源用プロテクタCBEを“ON(オン)”にしてください。	7項 (11頁)
	定電圧電源STB内部のランプが点灯していることを確認してください。 ランプが消灯しているときは、故障の可能性があるので販売店にお問い合わせください。	5項 (9頁)
	ロジックリレーLR Yを“RUN”にしてください。	9-6項 (35頁)
	レーザーセンサの検知エリアを確認してください。	11項 (39頁)
黄色回転灯が動作しない	ロジックリレーLR Yの出力端子O1の“黄色回転灯が動作中”出力信号が“ON(オン)”表示になっていることを確認してください。	9-2項 (16頁)
	上記項目のロジックリレーLR Yの出力信号を確認して正常なときは、黄色回転灯が故障している可能性があります。販売店にお問い合わせください。	X
電子ブザーが鳴らない	信号灯ブザー停止スイッチのレバーが“自動”または“鳴動”になっていることを、確認してください。	8-4項 (13頁)
	信号灯ブザー停止スイッチのレバーを“鳴動”にして、電子ブザーが鳴ることを、確認してください。 それでも、電子ブザーが鳴らないときは、電子ブザーが故障している可能性があります。販売店にお問い合わせください。	8-4項 (13頁)
	現在時刻がロジックリレーLR Yの信号灯ブザー停止時間帯になっていないことを、確認してください。	9-4項 (21頁)
	ロジックリレーLR Yの出力端子O2の“電子ブザーが自動鳴動中”出力信号が“ON(オン)”表示になっていることを確認してください。	9-2項 (16頁)
絶縁抵抗計(メガー)で絶縁抵抗を測定すると漏電している	出庫警報灯内部に電源線からの高電圧ノイズを除去するため、サージアブソーバZNR1、2(計3個)を取付けています。 絶縁抵抗を測定する場合は、必ず主電源用プロテクタCBEを“OFF(オフ)”にしてください。	5項 (9頁)  7項 (11頁)
	レーザーセンサが動作しない	主電源用プロテクタCBEを“ON(オン)”にしてください。
定電圧電源STB内部のランプが点灯していることを確認してください。 ランプが消灯しているときは、故障の可能性があるので販売店にお問い合わせください。		5項 (9頁)

## 14. 仕様

製品図番	SRZ1001C-E	
主材	t2.0 SUS304	
塗装	シルバー塗装 (関西ペイント: アミラックスNo. 371-109)	
電源	単相AC100V±10% 50/60Hz	
消費電力	最大20VA	
黄色回転灯	AC100V 3W (LED式)	
電子ブザー	AC100V 1.3W (音量調節付き)	
サージアブソーバ	放電開始電圧	線間: 270V 大地間: 470V
使用温度範囲	-10℃~+50℃	
使用湿度範囲	20%~85%RH (ただし、結露しないこと)	
重量	約27kg	
構造	防雨構造 (IPX3)・3面表示・自立形	
設置場所	屋内・屋外	

■本資料の記載内容は、令和6年1月現在のものです。

■製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

●販売元

**ビーイーエージャパン株式会社**

〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-8-19 横浜西口Kビル2階

TEL: 045-565-9560 FAX: 045-565-9561

●製造元

**日信防災株式会社**